

# はじめに

医療従事者になって以来、皆様はご自分の白衣のポケットの中に何をに入れてこられましたか？

私たちの場合、薬の本、各種マニュアル、覚え書き、手帳、電卓、小型辞書、抄読会の文献、財布等々、数え上げればきりがありません。これらを一つにまとめてポケットの中に入れて持ち歩きたい、しかも欲しい情報をすぐに検索して取り出したいという夢を叶えてくれた電子機器がPalm、CLIE、Pocket PCを初めとしたPersonal Digital Assistant (PDA)でした。

PDAは、PIM (Personal Information Manager/Management) と称される予定、ToDo、住所録、メモソフトを内蔵し、さらに辞書、計算ソフト、タイマーなど医療現場で役立つ様々なフリーソフトやシェアウェアをインストールして、自分だけの情報端末を作り上げることが出来ました。

残念ながらPalmは日本から撤退し、CLIEも2005年7月には生産を終了しましたが、その後も様々なPalmユーザーの力で、英語版Palmを日本語化して使用してきました。

こうした中、PDAに電話機能を搭載し、2005年12月14日にスマートフォンとして発売された救世主がW-ZERO3でした。丁度Pocket PCと呼ばれていたOSが Microsoft Windows Mobile 5.0 for Pocket PC と改名され、愛称がWindows Mobileへと変更された時代でした。このW-ZERO3の登場は、Windows Mobileに対する大きなコミュニティを作り、現在は全携帯電話メーカーからWindows Mobileを搭載したスマートフォンが発売されるに至っています。

スマートフォンは、ネットに瞬時にアクセスすることで文献情報を検索し、RSSを用いて最新かつ有用な医学情報を効率良く知ることが出来るようになりました。さらにPCメールの送受信や添付ファイルの閲覧と編集、カメラ・動画機能を使った情報収集も可能ですし、音楽やゲームを楽しむことが出来るようになりました。

単なる個人情報蓄積端末に止まらず、情報を収集・発信し、隙間時間を効率良く利用するための素晴らしいアシスタントになってくれるWindows Mobile機。しかし、他の電子機器同様、基本設定のやり方や効率的な利用方法を知らなければ、やりたいことができない・使いにくいなどでこの恩恵に預かることが出来ません。そこで本書は、Windows Mobile機の基本設定をわかりやすく解説し、かつ、医療でどのようにWindows Mobile機を使用・活用できるのかを説明しました。実際の使用者の声をもとにしたトラブルシューティングの解説も含め、Windows Mobile機を使ったことがない方にもわかりやすい「使える解説書」を目指しました。

皆様も是非本書を通じて医療現場におけるWindows Mobile機の楽しさと便利さを実感され、白衣のポケットの中にWindows Mobile機を入れて頂きたいと思います。

2009年6月

Windows Mobile医療活用ネットワーク